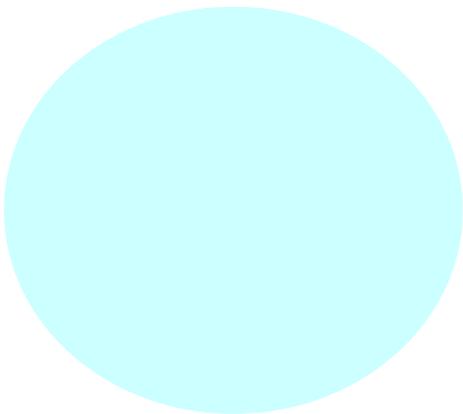




DT-950

Laser Patch Program



Laser Patch Program の概要

本パッチプログラムは、DT-950 のレーザスキャナの不具合対応を行なっております。

1 . レーザが発光したまま、動作しなくなる不具合
対応内容を以下に示します。

【概要】

レーザが発光したままになる不具合を修正

【詳細】

レーザスキャナのOpen/Close を素早く繰り返すと、レーザが照射されたままとなり、アプリケーションに制御が戻らなくなるという現象が発生します。

本現象はClose 処理中にレーザ照射を行う、またはまた、レーザ点灯時にOBR_Close 関数を実行し、Close 処理実行中にスキャン開始関数を実行することにより発生します。

これは、OBR_Close 処理内において「アプリケーション制御によるレーザ発光開始と停止機能」を実装するためのフラグ制御にミスがあり、無限ループに陥っているために発生しています。

【対策】

フラグ制御を見直した上で、Close 時のフラグ制御を修正しました。